

(12月の果実の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5か年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5か年平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
みかん類		36,859	94	36,646	172	144	211	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・早生みかんは12月上旬まで入荷予定。普通みかんは12月10日頃から出揃う。普通は極早生、早生よりも作柄は不良。中旬以降は品薄感が強まり、価格は強めの展開。 ・酸はやや高く、入荷ペースは緩慢。 ・需要の高まる12月は基調安の前年に比べ高値顕著。
りんご(ふじ)		6,018	99	5,989	204	120	225	968	16.1	<ul style="list-style-type: none"> ・青森産を中心に長野、山形産が出回る。青森産、長野産ともに小玉果の比率が高いため、総体の入荷量は前年よりやや減る見込み。 ・12月はギフト向けに大玉果の引き合いが強まり、ふじ総体の価格も強い。
いちご類		3,057	100	3,156	1,430	100	1,568	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・定植が順調に推移したことから、12月の入荷は順調の見込み。15日過ぎから年内ピークを迎える。 ・クリスマス前が最需要期となるが、業務需要は依然厳しく、価格は弱めの展開。
かき類		3,136	55	3,197	248	151	240	29	0.9	<ul style="list-style-type: none"> ・富有柿中心の入荷となる。各産地とも前年に比べ、入荷ペースは早い。 ・福岡、奈良産とも12月上旬に生柿が終了し、中旬から冷蔵ものに切り替わる。奈良産は少なかった前年の2割増。 ・価格は前年より安いが堅調に推移する見込み。
メロン類		998	95	1,132	687	100	781	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡を中心に熊本、宮崎、高知産が入荷する。静岡産は作付け減、九州産も同様だが、熊本産の生育はやや遅れ気味で、宮崎産は前進傾向とまちまち。アールスメロンでは作付け減の流れにあり入荷量は前年を下回る。 ・ギフト商材のアールスメロンは不足感があるものの、価格は前年並の見込み。
ほしがき		624	98	712	1,692	106	1,592	43	6.9	<ul style="list-style-type: none"> ・長野産を中心に福島、富山、山梨産が入荷する。 ・原料柿は少なめだが、12月の入荷量は前年並～やや減。 ・年末年始用の需要もあり、下旬に入り引き合いが強まる。